

第152回

関東連合産科婦人科学会 総会・学術集会

新しい産婦人科医療を デザインする

*Designing the Future of
Obstetrics and Gynecology*

産婦人科医療は今、大きな転換期を迎えています。

周産期医療、女性のヘルスケア、生殖医療、教育、キャリア形成など、
多様な視点からこれからの産婦人科医療を考える学術集会です。

日本専門医機構単位

申請中

共通講習または
産婦人科領域講習
プログラム多数
(Pマークのプログラム)



周産期医療・
母子の未来



感染予防・
ワクチン



出生前診断・
プレコンセプション



キャリア
デザイン



家族と性・
リプロダクティブ
ヘルス

特別講演



イダ・ノーベル賞受賞者が語る、
食と健康の未来を
デザインする
フロンティア思考

宮下 芳明 先生
(明治大学)



大会ホームページ
<https://jsog-k.jp/152/>



主催：一般社団法人 関東連合産科婦人科学会

多彩なプログラムで、未来の産婦人科医療をデザインする2日間

— プログラム Pick Up —



指導医講習会 —P

令和時代に求められる指導医像とは
—地方大学産婦人科のV字回復を通して—
磯部 真倫 先生 (岐阜大学)



未来を見据えた母子感染予防

—RSウイルスワクチン時代の周産期医療— P

石和田 稔彦 先生 牧野 真太郎 先生



母子免疫ワクチンの実態と
日産婦学会の取り組み

～乳児呼吸器感染症の予防のために～ P

川名 敬 先生 道佛 美帆子 先生



生まれる前から始まる周産期デザイン：

出生前診断とプレコンセプションの融合 P

三戸 麻子 先生
浜之上 はるか 先生
林 伸彦 先生



絨毛性疾患の過去から今を
紐解き理解する P

碓井 宏和 先生



「産婦人科×自分らしいキャリア」を
デザインする

曾根原 弘樹 先生
園田 正樹 先生
丸田 佳奈 先生



未来の産婦人科医療における
“家族と性”のデザイン P

門間 美佳 先生 水主川 純 先生



日産婦共同シンポジウム P

「子宮移植の実現に向けて
—臨床研究の現状と展望—



J-CIMELS ベーシック/
硬膜外急変対応コース



教育活動賞
受賞報告発表&表彰

P：日本専門医機構単位 申請中（共通講習または産婦人科領域講習）

若手優秀演題賞発表・表彰式/
情報交換会

2026年10月17日(土)

千葉の味覚とともに、
交流を深めるひとときを
お楽しみください。



房総太巻き

会場へのアクセス

幕張メッセ 国際会議場

(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)

・JR京葉線「海浜幕張駅」から徒歩約5分
・首都圏各地からアクセス良好

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

お問い合わせ先

第152回 関東連合産科婦人科学会 総会・学術集会 運営事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7 麹町パークサイドビル 402

TEL：03-3288-0993 E-mail：kanto-gakujutsu@jsog-k.jp